

01-概要・目標

1. 基本情報

学校名	KCS北九州情報専門学校
住所	〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2丁目4-1
認可年月日	昭和57年1月18日
校長名	石塚 吉臣

2. 特色

産学研連携による実践教育	当校は、システム・宇宙開発、情報教育、研究開発の3つの領域を基礎とする「産学研」の、複合グループ「eDCグループ」の一員です。グループのパートナー企業である株式会社SCCと宇宙技術開発株式会社からフィードバックされてくる産業界の最新技術・最先端の知識を教育カリキュラムに反映させています。地上高速専用回線を利用した遠隔教育システムやe-learning環境の構築も、こうした産業界からの発想です。また、これらの仕組みを用い、定常的に時代に適応した教育コンテンツが供給されるシステムの運用を可能にしたのは、北海道情報技術研究所の協力によるものです。
遠隔教育システム	当校では、ライブ形式の放映授業だけでなく、VOD（ビデオ・オン・デマンド）機能や、受講者からの質問を受けたり、アンケートを集計したりする双方向機能などを備えた、利便性の高い遠隔教育システムを持っています。 この遠隔教育システムを使った新しい形態の授業は、北海道技術研究所内にある「メディア教育センター（北海道江別市）」のスタジオや当校のグループ校スタジオから、専門学校向け、北海道情報大学通信教育部向けの高品質な講義映像を受講することができます。
資格と就職	電子開発学園では、開校以来、資格取得のためのデータを蓄積した高い精度の試験対策授業をカリキュラムに組み込んでおり、全国トップレベルの合格率を誇っています。 また就職難と言われる環境のなか、電子開発学園では常に世間の大学や専修学校を上回る高い就職実績を誇っています。

3. 教育理念と目標とする人材像

教育理念	IT 人材育成に関する国策の推進役を担うとともに、IT 企業が求める実践的な IT 人材を育成することにより、情報化社会の進展に寄与する。
目標とする人材像	<p>IT をコアとして、IT を適用する分野または業務の知識を有す「IT+α」を持つ IT 人材を育成することを目標とする。</p> <p>まず、次のようなコアとなる IT 人材像がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトに関する知識を有し、一員として情報システム開発に参加できる技術者 <p>このコアの上に「+α」として次の人材像がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトマネジメント知識を持ち、システム設計技術者及びプロジェクトマネージャ候補として参加できる「高度 IT」技術者 ・ 企業経営関連の知識を有し、情報戦略計画の策定に参加できうる「経営」情報化人材 ・ ユーザーにゲームの面白さを提供するために必要なプログラミング、プランニングや UI 設計等の知識を有し、時代に対応した即戦力の「ゲーム」クリエイター ・ Web デザイン等を含むインターネット技術に係る知識を有し、Web システムの開発に参加できうる「マルチメディア」情報技術者 ・ 情報化社会のビジネスを遂行するにあたり IT を有効活用し情報化を推進する「ビジネス」情報化人材
卒業認定の方針 (ディプロマポリシー)	<p><卒業の認定方針></p> <p>教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的な IT 人材として必要な以下の能力を身に付け、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の科目を履修した学生に対して卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・ コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・ 倫理観を持って行動できる

4. 沿革

昭和 57 年 4 月	九州電子計算機専門学校小倉校 開校
平成 3 年 4 月	通信衛星を利用した遠隔教育システム(PINE-NET)による授業開始
平成 6 年 4 月	北海道情報大学 北九州教育センター併設
平成 7 年 1 月	官報告示により 2 年生課程以上の卒業生に「専門士」称号付与
平成 13 年 4 月	KCS 北九州情報専門学校に校名変更
平成 17 年 12 月	官報告示により大学併修科(4 年課程)卒業生に「高度専門士」称号付与
平成 18 年 3 月	基本情報技術者試験 午前(現:科目 A)免除校の認定

連絡先

住所	〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2丁目4-1
電話番号	093-531-9131
FAX 番号	093-541-6224
E メールアドレス	web@kcsk.ac.jp